

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2013-250861(P2013-250861A)

【公開日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2013-067

【出願番号】特願2012-126051(P2012-126051)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/22 (2012.01)

G 06 Q 10/00 (2012.01)

【F I】

G 06 F 17/60 1 2 6 W

G 06 F 17/60 5 0 6

G 06 F 17/60 1 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

テキスト情報から所定の事柄を抽出する事柄抽出部と、

前記所定の事柄に関連付けられた一又は複数の行動パターンを特定する行動パターン特定部と、

センサ情報から前記所定の事柄に関連付けられた各前記行動パターンを抽出する行動抽出部と、

前記所定の事柄と当該事柄に関連付けられた各前記行動パターンとの組み合わせ毎に、各前記行動パターンが前記所定の事柄に寄与する度合いを表した寄与度を用い、前記センサ情報から抽出された各前記行動パターンに基づいて、前記事柄に関する状態を表す状態情報を生成する状態解析部と、

を備える、

情報処理装置。

【請求項2】

前記状態解析部により生成された前記状態情報を表示させる状態表示部をさらに備える、

請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

ユーザが保持する端末装置に搭載されたセンサが検出したセンサ情報を取得するセンサ情報取得部と、

前記ユーザが入力したテキスト情報を取得するテキスト情報取得部と、

前記事柄抽出部は、前記テキスト情報取得部により取得されたテキスト情報から前記所定の事柄を抽出し、

前記行動抽出部は、前記センサ情報取得部により取得されたセンサ情報から前記行動パターンを抽出する、

請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記状態表示部は、ユーザが保持する端末装置の表示部に前記状態情報を表示させる、
請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記状態情報は、

前記所定の事柄が、達成が希望される事柄である場合において、当該事柄に対する現在の達成度合いを表した達成度と、

前記所定の事柄に関連付けられた前記行動パターンから取得され、前記所定の事柄の現在の状態に関する現在値と、

前記所定の事柄に関連付けられた前記行動パターンから取得される値であって、前記所定の事柄の現在の状態に関する現在値と、前記所定の事柄の過去の状態に関する過去値とを比較した比較値と、

のいずれか 1 つを少なくとも含む、

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記状態情報は、

前記所定の事柄が、達成が希望される事柄である場合において、当該事柄に対する現在の達成度合いを表した達成度であり、

前記達成度の増加又は減少傾向に応じて、前記達成が希望される事柄の達成に向けて努力しているか否かを判定し、判定結果をユーザに提示する努力傾向通知部をさらに備える、

請求項 3 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記状態情報は、

前記所定の事柄が、達成が希望される事柄である場合において、当該事柄に対する現在の達成度合いを表した達成度であり、

前記達成度が所定の閾値を下回った場合、過去に負の寄与度を与えた行動パターンの中で頻度の高い行動パターン、又は、過去に負の寄与度を与えた行動パターンのヒストグラムをユーザに提示する原因通知部をさらに備える、

請求項 3 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記状態情報は、

前記所定の事柄が、達成が希望される事柄である場合において、当該事柄に対する現在の達成度合いを表した達成度であり、

前記達成度が所定の閾値を下回った場合、過去に負の寄与度を与えた行動パターンの中で頻度の高い行動パターンと逆の傾向を有する行動パターンをユーザに提示する助言通知部をさらに備える、

請求項 3 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

移動体に取り付けた端末装置に搭載されたセンサが検出したセンサ情報を取得するセンサ情報取得部と、

前記移動体を管理するユーザが入力したテキスト情報を取得するテキスト情報取得部と、
をさらに備え、

前記事柄抽出部は、前記テキスト情報取得部により取得されたテキスト情報から前記所定の事柄を抽出し、

前記行動抽出部は、前記センサ情報取得部により取得されたセンサ情報から前記行動パターンを抽出する、

請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

テキスト情報から所定の事柄を抽出することと、
前記所定の事柄に関連付けられた一又は複数の行動パターンを特定することと、
センサ情報から前記所定の事柄に関連付けられた各前記行動パターンを抽出することと、

、
前記所定の事柄と当該事柄に関連付けられた各前記行動パターンとの組み合わせ毎に、
各前記行動パターンが前記所定の事柄に寄与する度合いを表した寄与度を用い、前記センサ情報から抽出された各前記行動パターンに基づいて、前記事柄に関する状態を表す状態情報を生成することと、

を含む、

情報処理方法。

【請求項 1 1】

テキスト情報から所定の事柄を抽出する事柄抽出機能と、
前記所定の事柄に関連付けられた一又は複数の行動パターンを特定する行動パターン特定機能と、

センサ情報から前記所定の事柄に関連付けられた各前記行動パターンを抽出する行動抽出機能と、

前記所定の事柄と当該事柄に関連付けられた各前記行動パターンとの組み合わせ毎に、
各前記行動パターンが前記所定の事柄に寄与する度合いを表した寄与度を用い、前記センサ情報から抽出された各前記行動パターンに基づいて、前記事柄に関する状態を表す状態情報を生成する状態解析機能と、

をコンピュータに実現させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 4】

テキスト情報取得部 1 9 1 は、ユーザが入力したテキスト情報を取得する。例えば、テキスト情報取得部 1 9 1 は、ユーザがテキストを入力するための入力デバイスであってもよいし、ソーシャルネットワークサービスやアプリケーションからテキスト情報を取得する情報収集デバイスであってもよい。ここでは、説明の都合上、テキスト情報取得部 1 9 1 がソフトウェアキー ボードのような入力手段であると想定して説明を進める。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 8】

行動・体験照合部 1 9 6 により抽出された体験の情報及び当該体験に対応する行動パターンの情報は、非日常行動判別部 1 9 8 に入力される。行動パターンの情報が入力されると、非日常行動判別部 1 9 8 は、入力された行動パターンの情報が非日常的な行動を示すものであるか否かを判別する。また、体験の情報が入力されると、非日常行動判別部 1 9 8 は、入力された体験の情報が非日常的な体験を示すものであるか否かを判別する。